

2010年9月28日開催 第551回 番組審議会

■ 出席委員

荒巻裕委員長 櫻井美幸副委員長 上田理恵子委員 神谷徹委員
國定浩一委員 齊藤善也委員 東野博昭委員

■ 毎日放送出席者

河内社長 田中専務 上田専務 松島常務 河村編成局長 寺西制作局長
梅本報道局長 熊ラジオ局長 立野コンプライアンス室長
浜田制作二部長

◆ 「MBS開局60周年記念番組」(ラジオ・テレビ)

第551回番組審議会は9月28日(火)に開かれ、8月26日から9月2日にかけてテレビ・ラジオで放送した一連の「MBS開局60周年記念番組」について意見交換しました。

各委員の主な意見は次の通り。

- * 一つ一つの映像は非常に興味深く、面白かったが、何をこの60周年記念番組として伝えるかというところで散漫な印象を受けた。60周年記念番組と銘打つのであれば、何か一貫したものがあればよかったが、そこがなくて惜しかったというのが率直な印象。
『もう一度みたい！ はじめて映像 60 連発蔵出し SP』
- * 笑いのレベルを落とさないで、非常にスムーズにドラマ部分に入っていった。これは本当に技術的にも、全く視聴者の気をそらさないで、これは立派だなと感服した。
『よしもと新喜劇 SP』
- * お祭りとしては、MBSをアピールする意味でもいいイベントだったと思う。局内の活性というか、スタッフが頑張ったりするのはいいが、60周年記念として、見ている人にどこまで伝わっているのか最後まで疑問で終わった。
「記念番組全般について」
- * 総合司会の能力とか、人柄の温かさに感心した。最後に号泣していたけれども、非常にドラマを感じた。聞く方も大変疲れたが、新番組にも大変期待している。
『31. 5時間ラジオ』
- * 日ごろ仕事をしていて生で見ることがないので、長く感じるだろうなと思っていたが、内

容的には見応えがあって、最後までしっかり見られた。中身があって見応えのあるいい番組だった。

『ちちんぷいぷい』8月30日放送

* 60年の間に蓄積されてきた映像とか音声とかノウハウがどれだけ貴重な財産かというようなことや、一時代をつくった歴史というか、そのすごさを感じた。財産を受け継ぎながら、今後も新しく勢いのある元気な番組を作っていただきたいと思った。

「記念番組全般について」

* MBSのみならず、放送局がお笑いバラエティーに力を入れている時期かと思うが、やはり良質な笑いを追求していただきたい。私たちが、見終わった後に、あるいは聞き終わった後に、見てよかったな、聞いてよかったと。さて、あしたも頑張るかと感じられるのが、良質なお笑いであろうと思う。

「記念番組全般について」

■テレビ・ラジオの10月編成の概要について、編成局長、ラジオ局長が報告した。

■2010年度日本民間放送連盟賞中央審査の結果について、番組審議会事務局長が報告

以上